

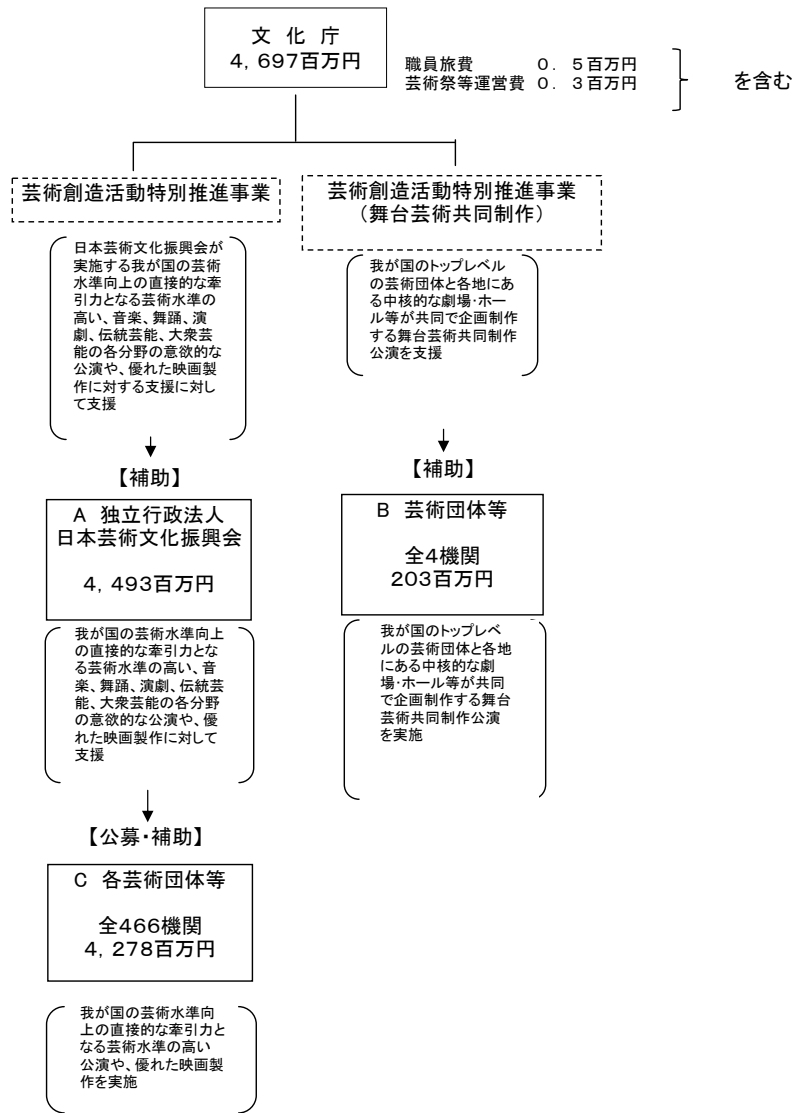
平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	優れた芸術活動への重点的支援		担当部局庁	文化庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度開始・平成22年度終了		担当課室	芸術文化課 伝統文化課		芸術文化課長 山崎 秀保 伝統文化課長 湊屋 治夫	
会計区分	一般会計		施策名	XII-1 芸術文化の振興			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第10条、第11条、第14条、第25条、第26条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第2次基本方針) (平成19年2月9日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の芸術水準向上の直接的な牽引力となる芸術水準の高い、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、大衆芸能の各分野の公演や、優れた劇映画、記録映画の製作に対し支援することで、我が国の舞台芸術等の水準向上を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	芸術創造活動特別推進事業(平成21年度開始)⇒独立行政法人日本芸術文化振興会が行う、我が国の芸術水準向上の直接的な牽引力となる芸術水準の高い、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、大衆芸能の各分野の意欲的な公演や、優れた映画製作に対する支援に対し補助。[補助率:定額]						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算		5,179	4,760		
		補正予算		-	-		
		繰越し等		-	-		
	計		5,179	4,760			
	執行額		5,179	4,697			
執行率(%)		100.0%	98.7%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	芸術水準の向上を定量的に指標化することは非常に困難である。 【参考指標】 我が国の主要芸術団体における自主公演数		成果実績	件		3,100	平成22年度の調査結果は取りまとまっていない
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	実施事業件数		活動実績 (当初見込み)	件		529	470 (414)
単位当たりコスト	9.99(百万円/1事業あたり)		算出根拠	平成22年度実績額 4,697百万円/実績470事業数=9.99百万円			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	計			※平成22年度限りの経費			

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	△	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>一昨年の事業仕分け結果及び昨年の行政事業レビューを踏まえ、事業効果の観点から、芸術団体等にとってインセンティブが働く支援方法の導入など、より効果の高い事業への転換を図り、本事業は廃止した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>一昨年の事業仕分けの評価結果を踏まえ、より効果の高い事業へ転換を図り、平成22年度をもって廃止している。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>※事業仕分け(平成21年11月)評決結果:(独)日本芸術文化振興会関係(優れた芸術拠点への重点的支援)は予算要求の縮減(圧倒的な縮減)→対応:2年で廃止</p>			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

A. 独立行政法人 日本芸術文化振興会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
助成金	芸術創造活動特別推進事業助成金	4,465			
人件費	アルバイト	5			
その他	審査委員会謝金・旅費、審査資料印刷費、 通信運搬費等	23			
計		4,493	計		0
B. 公益財団法人神奈川芸術文化財団			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
公演費	ヴェルディ作曲 歌劇「アイーダ」全4幕	95			
計		95	計		0
C. 公益財団法人 東京都交響楽団			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
公演費	東京都交響楽団2010年度楽季定期演奏 会(第696回~第713回)	89			
計		89	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人 日本芸術文化振興会	我が国の芸術水準向上の直接的な牽引力となる芸術水準の高い、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、大衆芸能の各分野の意欲的な公演や、優れた映画製作に対して支援	4,493	—	—

※ 補助事業であるため「入札者数」・「落札率」には「—」を記載

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人神奈川芸術文化財団	ヴェルディ作曲 歌劇「アイダ」全4幕	95	—	—
2	財団法人 石川県音楽文化振興事業団	東京芸術劇場、読売日本交響楽団&京都コンサートホール、京都市交響楽団 共同制作事業 P. マスカーニ歌劇「イリス」	72	—	—
3	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場	チェーホフの御座舞	30	—	—
4	財団法人 京都文化財団文化芸術会館	オペラ「椿姫」公演	6	—	—

※ 補助事業であるため「入札者数」・「落札率」には「—」を記載

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人 東京都交響楽団	東京都交響楽団2010年度楽季定期演奏会(第696回～第713回)	89	—	—
2	社団法人 大阪フィルハーモニー協会	大阪フィルハーモニー交響楽団 定期演奏会	66	—	—
3	財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団	東京定期演奏会 第619回～第628回	60	—	—
4	公益財団法人 札幌交響楽団	札幌交響楽団 第528回～第537回定期演奏会	59	—	—
5	財団法人 読売日本交響楽団	読売日本交響楽団 第492回～第502回定期演奏会	55	—	—
6	社団法人 落語芸術協会	寄席定席公演	51	—	—
7	株式会社 エース・プロダクション	武士の家計簿	50	—	—
8	有限会社 ユニークブレインズ	桜田門外ノ変	50	—	—
9	株式会社 サンライズ	カラフル	50	—	—
10	日活 株式会社	八日目の蟬	50	—	—

※ 補助事業であるため「入札者数」・「落札率」には「—」を記載